

新型コロナウイルスの感染予防対策について

本大会を実施するにあたり、新型コロナウイルスの感染予防対策を行なっていく必要があります。対策の内容について、以下のとおりとしますので、各チームで周知の上、徹底してください。

◎来場人数制限

小さいお子さんを連れての来場を極力控えるなど、必要最少人数で来場すること。
チームとして、来場される方の「健康チェックシート」等を取りまとめておくこと（後述）。

◎体調

朝、熱が37.5℃以上ある場合はお休みとする。
また37.5℃未満であっても、前日まで体調が良くなかった場合は同様とする。

◎チームテント（テント内）

他チームのテントと間隔を空け、また風とおしをよくする。
極力、一定の距離を取って座る。飲食の際は対面した状況を避ける。

◎試合会場での行動（選手）

原則、マスク着用とするが、以下の場合には熱中症等の対策のため、マスクを外すこと。
⇒ ①試合でのピッチ上の選手 ②試合中での控え選手のアップ時 ③チームでの練習時
ベンチの選手は密を避けて座る。
試合以外の時間において、むやみに会場内を動き回らない。
食事等の前に必ず手洗いをする。ドリンクボトルは共有して使用しない。
必要以外に声を出さず、またどこにでも唾を吐かない。
会場では、試合時を問わず、握手、ハイタッチ、肘タッチ等は禁止とする。

◎試合会場での行動（指導者）

原則、マスク着用とするが、チーム練習時のみ外してよい。
他チームの指導者等との対話は必要最小限とする。

◎試合会場での行動（保護者）

極力、必要最低人数とする。
必ずマスクを着用する。また、むやみに会場内を歩き回らない。

◎試合会場での行動（審判）

主審はマスクを外して行い、補助審はマスク着用とする。また笛の貸し借りはしない。

◎試合時のあいさつ

センターサークルでのあいさつは、主審の笛のあと「礼のみ」とする。
試合後、両軍のベンチに対してのあいさつも禁止とする。声は出さず、握手も禁止とする。
アイコンタクトでの会釈にて、試合前は健闘を誓い合い、試合後はお互いを称え合う。

◎行動記録

当日の来場者の誰かが、数日後に新型コロナウイルスの感染が発覚した場合を想定し、選手・指導者・審判・保護者・本部役員それぞれにおいて、当日の行動を記録（メモ）しておくこと。
（①当日の参加者、②練習・アップの時間や場所、③配車割など）

◎各チームにて用意するもの

必須 ⇒ 体温計、予備用マスク
任意 ⇒ アルコール消毒液（任意とするが、できれば用意した方がよい）
液体石鹸、ペーパータオル（本部では用意しない）

◎健康チェックシート

育成協議会から配布する用紙の使用を強要するものではなく、他の類似様式のものでもよい。
必要事項を記載し、万一の場合に備え、まとめてチームで保管しておく。
当日、来場する全ての方々が対象となる。（幼児・乳児も含む）
家族単位での使用とし、「保護者と選手」また「お父さんコーチと選手」などは1枚とする。
育成協議会の様式は、1枚に5名まで記載できるので、6名以上の場合はもう1枚追加すること。
（感染予防の観点から極力少ない人数とすること）
試合1週間前からの起床時体温を記載しなければならないので、忘れず検温および記載をする。
保管していた健康チェックシートにて、試合日から一定の日数が経過し、不要と判断できる場合は、責任を持って廃棄処分すること。